

## 日本あちこち河川遡行記（第288回）

奈良1-7. 飛鳥川（その2）前半 令和1年9月20日（金）晴のち曇り

飛鳥川の続きに出かける。今日の天気予報では昼過ぎから小雨。雨が降るとレンタサイクル利用での調査は無理なので普通の徒歩調査になる。それによって近鉄の利用線区、降車駅、バス利用も変わるので良く考える。長年の勘で天気は持ちそうと推測し八木駅に向かう。

新大阪駅の降車ホームのエスカレータに最も近いこだま6号車後の扉から降り、目の前のエスカレータで下に降りる。急ぎ足でメトロのエスカレータに向かいホームに上がると始発の天王寺行きが入線。座席に座り30秒後に発車。今日はスムーズに梅田、淀屋橋と駅手前に停車することなく走り難波到着！これも登りエスカレータに近い扉から降り近鉄難波駅に向かう。改札を抜け下りエスカレータに乗りホームに降りると奈良行き快速急行が発車間際。乗ると扉が閉まり鶴橋に向かう。鶴橋で降りるとホームの反対側に上本町発青山行き急行が入線。すぐに乗り込み発車！今日はこれ以上の早い乗り継ぎが出来ないパーフェクトな乗り継ぎで気分よく八木駅に降りる。

メトロの新しい車両の扉の一部の横には座席を1名分無くし広いスペースが取ってある。大きな荷物持ちの乗客、乳母車置き場などのスペースとして利用するよう絵解説が有る。この場所をそのような利用場所として知っている人は少ないだろう。もたれる壁が有るので絶好のスマホいじりが出来る場所として利用されそう。岡山では混んだ車内でスマホに熱中して場所を移動しない輩が増えている。公共の場の混んだ場所でのスマホ操作を止めさせる方法は無いのだろうか？



01.今回調査区間位置図



02.御堂筋線の新車には1両に2か所このスペースが

直ぐに駅前の観光案内所に行き自転車を借りる。前回の最後の橋は JR 桜井

線の橋だったのでその南側の「蘇武橋」に向かう。街中の狭い国道 24 号を南に進み近鉄橿原線の踏切を越え橋に到着。高取川遡行時に通過した橋である。橋の西側の古木に再会の挨拶をしておく。



03.今日は自転車で左上から右下へ

04「蘇武橋」から開始

橋から対岸を見れば「今井町」の町並みが広がり奥には「畝傍山」が控えている。川沿いにはミニ公園が続き、蘇武の井戸が道路から石段を下った所に保存されている。目の前に川はあるが飲み水には適さなかったからだろうか井戸が複数ある。道路の西側には大きな保存家屋が歯科医院になっている。こちらの川側には柳並木が続き、何だか倉敷に戻ってきたような感覚になる。富田林の寺内町では高校の同期生の眼科医院が保存された古いビルで診察をしているが、ここは純粹の日本家屋でビックリポンや。



05.飛鳥川沿いに今井町が広がる

06.蘇武の井戸の解説板



07.蘇武井は一段下に有る



08.今井町では眼科では無く歯科が保存建物に

今井町から離れ川沿いに進む。樫原線の下を潜り国道 24 号を越え土手道を進む。いくつかの小さな橋を見て来ると左岸側の土手に鳥居が立ち、その上流側にお稲荷さんの社が有る。

国道 165 号の「藤原京大橋」を見て右岸側から左岸側の自転車道に入る。今日は寒いぐらいの涼しさであの悪夢のような熱暑が嘘のようだ。八木から飛鳥に自転車で向かう人は少ないようで自転車とは出会わない。



09.土手がお稲荷さんの参道に



10.藤原京大橋からは左岸側の自転車道

「畝傍山」の丁度東側まで来ると山は正三角形の円錐形に見える。藤原京から見れば同じ形に見えるだろうから大和三山になったのだろう。平野の南東端に有る「天の香久山」は南の山並みの続きでその姿は他の 2 山には及ばず、平凡な姿をしている。「女と山は姿形で判断するものではないぞ！山の神に叱ら

れるぞ！」と言われそうだが。



11.「畝傍山」を東側から見れば  
円錐形に



12.大和三山の「天の香久山」は  
細長ーい

やがて橿原市から「明日香村」に入る。すぐにマンホールが現れる。村のマンホールの蓋は久しぶりである。絵柄には村の花、「橘」が中心部に挿入されている。文化勲章のあの形である。「飛鳥」は歴史に出て来る「飛鳥時代」から有名な地名であるが、村の名前は「明日香村」と飛鳥とちゃうやんか！昭和31年のかつての3村（阪合、高市、飛鳥）合併時に対等合併の証として読みは一緒だが漢字が異なる村名にしたのだろう。今合併するのなら「飛鳥村」にするのだろうが。

暫し県道124号に張り付けた自転車道を南に向かう。川を越える「飛鳥橋」は新旧の橋が並び、旧橋は幅の広い自転車道に転用されている。



13.明日香村は村の花、文化勲章に  
使用されている橘が



14.「飛鳥橋」の旧橋は広い歩道に転  
用

平野部から丘陵地帯に入り川は溪谷の風情になる。県道155号の「高市橋」の直ぐ横の一段下に箱型の橋が川を越えている。袂には「吉野川分水東部」の

解説板が有る。葛城川で出合った分水西部の兄弟分だ。ここから山の辺の道に向かい天理方向に流れていくのだ。

予定していた最後の橋を見て石舞台の方向に舵を切る。川の東側の道路に二階建ての奈良風の大きな建物に目立つ看板が立っている。何と銀行だ。看板が無ければ分からないぞ！奈良を京都に遠慮して南都と言っているが、当方に言わせれば奈良の方が先輩なのだから京都は北都と言うべきと考えている。



15.「吉野川分水東部」が飛鳥川を橋で越えて北に流れる



16.なんと！この建物は銀行だ

石舞台に直行せず近く村役場を覗きに行く。コンクリート打ちっぱなしの二階建ての村としては大きな役場だ。

玄関脇には来年度から交付されるナンバープレートの見本が掲げられている。バックの絵柄には朱雀がデザインされ優雅なプレートだ。交付対象地域は中和の橿原市、三宅町、田原本町、高取町、明日香村である。既に同種のご当地デザインの奈良プレートが有り、遡行時に見つけている。奈良県の多くの市町村ではマスコットキャラを使用した原付用プレートがその絵柄を競い合っている詳しくは「奈良県寺社ガイド 図柄入りナンバープレート」で・・・



17.明日香村役場前を通過



18.新たなナンバープレートは飛鳥を

## デザイン

村のメインストリートは石畳敷で電柱は有るが電線の無いすっきりとした街並みである。大阪の石川遯行時に訪れた太子町の道路を思い出す。多くの観光客が居る居る！さすが飛鳥じゃ。



19.石畳と電柱は有るが電線の無い街並み

南に向かっていた道を左に曲がり坂を上がれば石舞台の入り口に到着。色とりどりのレンタサイクルが駐輪場に居るぞ。大半は飛鳥駅と橿原神宮駅の貸自転車のような。舞台の入り口で入場料 300 円を払い中に入る。すぐ目の前にその巨大な石の造形物が芝生の中央に鎮座します。かつては土砂に覆われていた石のお墓が長年の風雨でその姿を現したのだ。巨石のてっぺんが平らになっているので、その上で芝居などが出来そう。



20.「石舞台」に着き 300 円払って中に



21.本物にご対面



22.古代の土木技術の産物がこれだ



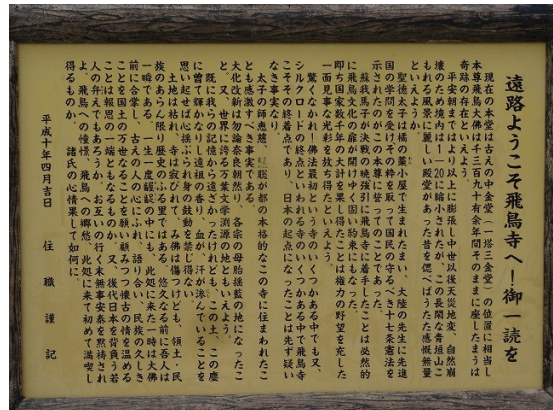
23.玄室に入れるのだ

休憩所でコンビニお握りの昼を摂り帰路につく。同じ道を走るのは勿体ないので川沿いをやめ観光客が走る道を北に向かう。

10分ほど走ると「飛鳥寺」に着き飛鳥大仏を拝観する。ごく普通のお寺の佇まいでこれが有名な寺とは思えない。



24.「飛鳥寺」に立ち寄る



25.寺の解説、ご一読を

350円を払い靴を脱いで中に入る。すぐに大仏とご対面。これまで数多くの仏像を見て来たが、ここの大仏さんは人間臭くどこかのおっさんをモデルにしたような姿である。有難味よりも親しみを感じるナ。



26.どこかのおっさんのような飛鳥大仏

寺の中と境内を見回る。お釈迦さんが悟りを得た菩提樹の木が境内に有る。枝葉が大きく広がる日陰の広い木で、この下なら真夏の暑い日差しが遮られ悟りを得る一助になったのだろう。



27.寺の内庭を覗く  
だ



28.この木何の木？気になる木、菩提樹

30分ほど滞在し輪行を再開して進む。途中見かけた建物が簡易郵便局（飛鳥北局）になっている。よく見ないと分からずそのまま通過するところだった。奈良やなー。





29.この建物何の建物？郵便局だぞ！

田園の中を北に快調に進むと「天の香久山」の全貌が見える所を通過する。別にどうという山やおまへんな。

更に進み道を西に向かうと北側に「耳成山」が平地の真っただ中にポツンと顔を出している。すぐに藤原京跡の石柱が県道沿いに立ち、その奥には何も無い！この位置からは北に耳成、西に畝傍、東に天の香久山と大和三山が見え、三山の重心位置が藤原京になる。この三山と近くの川港、広い平地の存在が都になった要因と考えられる。



30.「天の香久山 (H=152m)」はごく普通の山の姿



31.三山のラスト「(H=139m)」は平野の中にポツンと



32.「藤原京跡」は何も無いぞなもし

八木のせせこましい街中の狭い道を進むと四つ角に「八木 札の辻」なる案に有板が有る。その前には門も扉もふすまも全て開けっ放しの二階建ての建物が建っている。ここは先日解説を見た「横大路」と大和平野を南北に連なる3本の道の一つ「下ツ道」の交差点である。この建物の先代は旅籠だったのかも知れない。



33.八木の札の辻は「横大路」と「下ツ道」の交差点



34.交差点の角の建物は交流館に

雨がポツリポツリと落ちて来た。ゴール寸前の小雨で予想通りの帰還である。観光案内所で暫し地域のこと、先日渡した「高取川」の遡行記の感想などを聞き駅に向かう。

時間が十分あるので駅下のミスタードーナツで休憩をとる。この店は大和高田駅にも有ったぞ。かつての駅の売店、キオスクは大手コンビニのミニ売店に変身し、JR西は「セブンイレブン」、近鉄は「ファミリーマート」に、大阪メトロは「ローソン」に統一、棲み分けが進んでいる。これじゃ一駅弁は売れんわな。

次は大和川の多くの支流の最後「寺川」だ。奈良の川らしい川名だ。

本日の歩行（輪行）距離：15.5km。調査した橋の数：21。

総歩行距離：10,580.1km。総調査橋数：13,611。

使用した 1/25,000 地形図：「桜井」（和歌山 1 号-4）、「畝傍山」（和歌山 2 号-3）